

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

## 化学品の名称

製品名称：KFシールテクトHBトップ

## 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途：コンクリート保護・剥落防止用コーティング剤

使用上の制限：所定の用途以外には使用しないこと。

## 供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称：KFケミカル株式会社

住所：〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1 日比谷ビルディング9F

電話番号：03-6629-9033

FAX：03-6629-9023

緊急連絡先電話：03-6629-9030

## 2. 危険有害性の要約

## 化学品のGHS分類、GHSラベル要素

## GHS分類

## 物理化学的危険性

引火性液体：区分 3

(注) 記載なきGHS分類区分：区分に該当しない/分類できない

## GHSラベル要素



注意喚起語：警告

## 危険有害性情報

H226 引火性液体及び蒸気

## 注意書き

## 安全対策

P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

P233 容器を密閉しておくこと。

P240 容器を接地しアースをとること。

P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。

P242 火花を発生させない工具を使用すること。

P243 静電気放電に対する措置を講ずること。

P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 応急措置

P370 + P378 火災の場合：指定された消火剤を使用すること。

P303 + P361 + P353 皮膚(又は髪)に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

## 貯蔵

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

## 廃棄

P501 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報（危険有害性成分を対象）

化学物質・混合物の区別：混合物

成分名	含有量 (%)	CAS No.	化審法番号
酢酸1-メトキシ-2-プロピル	4.5	108-65-6	2-3144
酸化チタン(IV)	2.6	13463-67-7	1-558
炭酸ジメチル	0.52	616-38-6	2-2853

注記：含有量は参考値

成分に関する法規制情報は「15.適用法令」を参照。

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

## 皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

## 眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。

## 飲み込んだ場合

口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

いずれの場合も、医師への受診時には製品または安全データシートを持参する。

## 医師に対する特別な注意事項

適切な応急処置を講ずる。

## 5. 火災時の措置

## 適切な消火剤

泡、粉末、炭酸ガスを使用すること。

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用すること。

## 使ってはならない消火剤

棒状水は火災を拡大させる危険があるため使用してはならない。

## 火災時の特有の危険有害性

火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

## 特有の消火方法

火元への着火源を断ち、適切な消火剤を使用して風上から消火する。

関係者以外は安全な場所に退避させること。

漏えいした場合、安全に対処できるならば着火源を除去すること。

## 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

保護衣を着用するほか、状況に応じて非浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

## 6. 漏出時の措置

## 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は区域より退避させる又は近づけない。

作業者は適切な保護具(「8.ばく露防止及び保護措置」を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。

回収が終わるまで十分な換気を行う。

#### 環境に対する注意事項

下水道、河川等に流出させ、環境への影響を起こさないように注意する。

下水道、河川等に流出した場合は、関係機関に通報する。

#### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合：吸着材(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ空容器に回収した後、残りをウエス等でよく拭き取る。

多量の場合：土砂等(不燃物)で囲い流出防止をした後で、衝撃、静電気にて火花を発生させない材質の用具でドラム等の空容器に回収する。残留分はおがくず、土、砂等で吸着処理する。

回収物類の廃棄物は関係法令に従って処理すること。

#### 二次災害の防止策

周辺の着火源となるものを速やかに除く(喫煙、火花、火炎の禁止)とともに、着火した場合に備えて消火剤を準備する。

排水溝、下水溝、低所、閉鎖場所への流入を防ぐ。

下水道、河川等に流出させ、二次災害、環境汚染を起こさないように注意する。

漏洩時は事故の未然防止及び拡大防止を図る目的で、速やかに関係機関に通報する。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

火気注意(周辺での高温物、火花、火気の使用を禁止)。

「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

#### 安全取扱注意事項

眼、皮膚又は衣類に付けないこと。

屋外又は換気の良い場所で取り扱うこと。

#### 接触回避

「10.安全性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

取扱い後はよく手を洗い、うがいをする。

この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

「10.安定性及び反応性」を参照。

直射日光や火気を避けること。

容器を密閉して冷所、換気の良いところで貯蔵すること。

#### 安全な容器包装材料

消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値データなし

#### 許容濃度

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

日本産衛学会(2005)(吸入性粉じん) 1mg/m<sup>3</sup>、(総粉じん) 4mg/m<sup>3</sup>

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

ACGIH(2005) TWA: 10mg/m<sup>3</sup>

#### 設備対策

空気中の濃度をばく露限度以下に保つために、排気/換気を行って蒸気が滞留しないようにする。

取り扱い場所の電気機器は防爆型とし、静電気放電に対する予防処置を講じること。

取り扱い場所の近くに、洗眼及び全身洗浄ができる設備を設ける。

**保護具****呼吸用保護具**

換気が不十分な場合、適切な呼吸用保護具を着用すること。

**手の保護具**

耐薬品、非浸透性の適切な保護手袋を着用すること。

**眼、顔面の保護具**

状況に応じて適切な保護メガネ、安全ゴーグル等を着用すること。

**皮膚及び身体の保護具**

皮膚を直接曝させないように長袖作業衣を着用すること。

安全のためヘルメット、安全靴を着用すること。

---

**9. 物理的及び化学的性質**

物理状態：粘稠液体

色：表示色

臭い：特有臭

融点/凝固点：製品としてのデータなし

沸点又は初留点：製品としてのデータなし [酢酸1-メキシ-2-プロピル] 146°C

沸点範囲：製品としてのデータなし

可燃性：点火性あり (消防法 危険物 第4類 引火性液体 第2石油類 非水溶性液体 危険等級Ⅲ)

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：製品としてのデータなし

爆発下限：[ナフサ(石油)] 0.7vol %

爆発上限：[酢酸1-メキシ-2-プロピル] (200°C) 7.0vol %

引火点：25°C [セタ密閉法]

自然発火点：製品としてのデータなし [ナフサ(石油)] 255~270°C

分解温度：製品としてのデータなし

pH：製品としてのデータなし

動粘性率：製品としてのデータなし

水に対する溶解度：製品としてのデータなし (成分の溶解度のデータは「12.環境影響情報」を参照)

溶媒に対する溶解度：製品としてのデータなし

n-オクタノール/水分配係数：製品としてのデータなし

蒸気圧：製品としてのデータなし

密度及び/又は相対密度：1.01g/cm<sup>3</sup> (23°C [比重カップ法])

相対ガス密度(空気=1)：製品としてのデータなし

粒子特性：製品としてのデータなし

---

**10. 安定性及び反応性****反応性**

水、アルコール、アミンなどの活性水素化合物と反応する。激しく反応する場合、発熱するおそれがある。

水と反応して二酸化炭素を発生する。

**化学的安定性**

通常取り扱い条件下においては安定。ただし、水分と徐々に反応して表面より増粘、ゲル化を起こすため、開封後は早めに使い切ることが望ましい。

**危険有害反応可能性**

水と反応して二酸化炭素を発生するが、密栓容器内で起こると容器が膨れるおそれがあるので注意する。

開封後は不活性ガス(窒素)で十分に置換して密栓すること。

**避けるべき条件**

火気、加熱、高温多湿、直射日光、長時間の開封などの条件を避ける。

**混触危険物質**

強酸、強アルカリ、酸化性物質

**危険有害な分解生成物**

燃焼により炭素酸化物(CO<sub>x</sub>)、窒素酸化物(NO<sub>x</sub>)、シアン化水素などの有害ガスが発生するおそれがある。

---

## 11. 有害性情報

製品の毒性試験を実施していないため、成分の有害性情報を元に分類した。

急性毒性データなし

皮膚腐食性/刺激性データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(酢酸1-メキシ-2-プロピル)

ラビット 軽度から中等度の刺激性 (SIDS, 2003)

[会社固有データ]

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

ウサギを用いた試験で刺激性あり(mild)との記述がある。眼への刺激(区分2B)。 (IUCLID,2000)

呼吸器感作性又は皮膚感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

生殖毒性

[成分データ]

[日本公表根拠データ]

(炭酸ジメチル)

cat. 2; HSDB, 2003

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

[成分データ]

[区分3(気道刺激性)]

[日本公表根拠データ]

(酢酸1-メキシ-2-プロピル)

気道刺激性 (SIDS, 2008)

[区分3(麻酔作用)]

[日本公表根拠データ]

(酢酸1-メキシ-2-プロピル)

麻酔作用 (SIDS, 2008)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) データなし

誤えん有害性データなし

---

## 12. 環境影響情報

製品の毒性試験を実施していないため、成分の有害性情報を元に分類した。

生態毒性

水生環境有害性

[成分データ]

水生環境有害性 短期(急性)

[日本公表根拠データ]

(酢酸1-メキシ-2-プロピル)

藻類 (Pseudokirchneriella subcapitata) ErC50>1000mg/L/72hr;

甲殻類 (オオミジンコ) EC50=370mg/L/48hr;

魚類 (メダカ) LC50>100mg/L/96hr (環境省生態影響試験, 1997)

水生環境有害性 長期(慢性)

[会社固有データ]

(酸化チタン(IV)) [原料SDS]

信頼性のある慢性毒性データが得られていない。難水溶性で(水に不溶、ICSC,2002)、急性毒性区分外ではあるが無機化合物で環境中の挙動が不明であることから区分4とした。

水溶解度

(酢酸1-メキシ-2-プロピル)

19.8 g/100 ml (ICSC, 1997)

- (炭酸ジメチル)
- 溶けない (ICSC, 2005)
- (酸化チタン(IV)) [原料SDS]
- 水に不溶 (ICSC,2002)
- 残留性・分解性
  - 残留性・分解性データなし
- 生体蓄積性
  - 生体蓄積性データなし
- 土壤中の移動性
  - 土壤中の移動性データなし
- オゾン層への有害性
  - オゾン層への有害性データなし

---

### 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
残余廃棄物

- 廃棄においては関連法規ならびに地方自治体の基準に従って廃棄すること。
- 都道府県知事などの認可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体が行っている場合にはそこに委託して処理する。
- 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
- 内容物の組成によっては混合廃棄物となる場合があるため、自治体または認可を受けた専門の処理業者に事前に確認して処理を委託すること。
- イソシアネート成分を含有するため、容器ごと廃棄して他の廃液等と混ぜないこと。
- 【硬化前】引火性廃油(特別管理産業廃棄物)と廃プラスチック類(安定型産業廃棄物)の混合物、
- 【硬化後】廃プラスチック類である。

#### 汚染容器及び包装

- 内容物を完全に除去した後の空容器等は、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って産業廃棄物として処理するか、またはリサイクルにまわす。
- 内容物が付着している容器等は混合廃棄物となる場合があるため、自治体または認可を受けた専門の処理業者に事前に確認して処理を委託すること。
- 【紙管、外箱などの紙製容器・包装】リサイクルまたは紙くず(単品の場合、付着物がある場合でも管理型産業廃棄物)
- 【缶、ドラム、チューブなどの金属製容器】金属くず(単品の場合は安定型産業廃棄物、付着成分があり混合廃棄物となる場合はその安定型・管理型分類に従う)
- 【瓶などのガラス製容器】ガラスくず(単品の場合は安定型産業廃棄物、付着成分があり混合廃棄物となる場合はその安定型・管理型分類に従う)
- 【ボトル、チューブ、袋などのプラスチック製容器・包装】廃プラスチック類(単品の場合は安定型産業廃棄物、付着成分があり混合廃棄物となる場合はその安定型・管理型分類に従う)

---

### 14. 輸送上の注意

- 国連番号 : 1139
- 品名(国連輸送名) : コーティング液
- 国連分類 : 3
- 容器等級 : III
- 指針番号 : 128
- 特別規定番号 : 223
- IMDG\_Code (国際海上危険物規程)
- 国連番号 : 1139
- 品名(国連輸送名) : コーティング液
- 国連分類(輸送における危険有害性クラス) : 3
- 容器等級 : III
- 特別規定番号 : 955

## IATA\_DGR (航空危険物規則書)

国連番号 : 1139

品名(国連輸送名) : コーティング液

国連分類(輸送おける危険有害性クラス) : 3

危険性ラベル : Flamm.liquid

容器等級 : III

特別規定番号 : A3

## MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止

海洋汚染物質 : 非該当

## 輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

「7.取扱い及び保管上の注意」を参照。

容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

直射日光、雨にばく露されないように運搬する。

保護具、消火器を携帯する。

必要あればイエローカードを携帯する。

陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定める運搬方法に従うこと。

海上輸送 : 船舶安全法に該当する場合は、当該法規の定める運搬方法に従うこと。

航空輸送 : 航空法に該当する場合は、当該法規の定める運搬方法に従うこと。

## 国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法

引火性液体類 分類3

航空法

引火性液体 分類3

## 15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

毒物及び劇物取締法 : 非該当

労働安全衛生法

特化則 : 非該当

有機則 : 非該当

名称等を表示すべき危険物及び有害物

酸化チタン(IV) (別表第9の191); 酢酸1-メトキシ-2-プロピル (令和8年4月1日施行)

名称等を通知すべき危険物及び有害物

酸化チタン(IV) (別表第9の191); 酢酸1-メトキシ-2-プロピル (令和8年4月1日施行);

炭酸ジメチル (令和8年4月1日施行)

令別表第1 危険物 (第1条、第6条、第9条の3関係)

引火性の物 ( $0^{\circ}\text{C} \leq \text{引火点} < 30^{\circ}\text{C}$ )

化学物質排出把握管理促進法 (令和5年4月1日施行) : 非該当

消防法

危険物

第4類 引火性液体 第2石油類 非水溶性液体 危険等級 III (指定数量 1,000L)

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 : 非該当

廃棄物処理法

「13.廃棄上の注意」を参照。

適用法規情報

この製品に関して適用される国内または国際規制を遵守してください。

## 16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN  
IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)  
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)  
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)  
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)  
JIS Z 7252 : 2019  
JIS Z 7253 : 2019  
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)  
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)  
Supplier's data/information

責任の限定について

- ・現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成したものであり、新しい知見により改訂する場合があります。
- ・法令改正や製品改良により、改訂する場合があります。
- ・記載内容に関しては注意を払っていますが、いかなる保証をなすものではありません。
- ・本製品の通常の取り扱いを対象としたもので、特殊な取り扱いをする場合は用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱いください。

# 安全データシート

作成日 2022/12/13

改定日 2024/03/08

## 1. 製品及び会社情報

製品名	KF シールテクト アンダーコート T・T パテ (粉体)
会社名	KF ケミカル株式会社
住所	東京都港区新橋 1-1-1 日比谷ビルディング 9F
電話番号	03-6629-9033
FAX 番号	03-6629-9023
推奨用途	防水塗装材
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと

## 2. 危険有害性の要約

### GHS 分類

物理化学的危険性		分類できない又は区分に該当しない
健康に対する有害性	生殖細胞変異原性	区分 2
	発がん性	区分 1A
	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (免疫系、呼吸器、腎臓)
環境に対する有害性	水性環境有害性 (短期)	区分 2
	水性環境有害性 (長期)	区分 3

### GHS ラベル要素

絵表示 (ピクトグラム)



注意喚起語

危険

危険有害性情報

遺伝性疾患のおそれの疑い  
発がんのおそれ  
長期にわたる又は反復ばく露による免疫系、呼吸器、腎臓の障害  
水生生物に毒性  
長期継続的影響によって水生生物に有害

注意書き

安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと  
環境への放出を避けること。

応急処置

ばく露またはその懸念がある場合：医師の診察/手当を受けること。  
気分が悪いときは、医師の診察/手当を受けること。

保管

施錠して保管すること。

廃棄

内容物/容器を、国/県都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

## GHS 分類に該当しない他の危険有害性

物理的及び化学的危険性：通常の取扱いでは、火災の危険性は低い。

### 3. 組成・成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	設定なし
成分及び濃度又は濃度範囲	結晶質シリカ（石英）（CAS RN：14808-60-7）、含有率 30-40%、化審法番号 1-548 二酸化チタン（CAS RN：13463-67-7）、含有率 30-40%、化審法番号 1-558 ポルトランドセメント（CAS RN：65997-15-1）、含有率 10-20% 二酸化ケイ素（CAS RN：7631-86-9）、含有率 3-4%、化審法番号 1-548 酸化亜鉛（CAS RN：1314-13-2）、含有率 <1%、化審法番号 1-561

### 4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に（又は髪）に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚異常が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。洗眼の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がよく行きわたるようにする。 眼に刺激が続く場合は、医師の診察／手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 無理に吐かせないこと。 気分が悪い時は、医師の診察／手当てを受けること。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候	
急性症状	無し
遅発性症状	遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害（免疫系、呼吸器、腎臓）
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	適切な保護具(保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面)を着用する。換気を行う。

### 5. 火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火剤、泡消火剤、砂、霧状水
使ってはならない消火剤	冷却の目的で霧状水は用いてもよいが、消火に棒状水を用いてはならない
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素が含まれるので消火作業の際には、煙の吸入を避ける
特有の消火方法	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う 関係者以外は安全な場所に退去させる

### 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	風上から作業し、風下の人を退避させる 処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護衣等を着用する
-----------------------	--

環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の方法及び  
機材  
二次災害の防止策

回収された廃棄物を河川等の流水域に流出しないよう注意する  
ほうき等で掃き集め、紙袋またはドラム缶等の空容器に回収する  
回収する過程に、粉じんを生じること避ける。  
付近の着火源となるものを速やかに除くと共に消火剤を用意する。  
漏出物の上をむやみに歩かない。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

技術的対策

局所排気装置の設置等、通気の良い作業所を確保する。  
適切な保護具を付けて作業すること。

安全取扱い注意事項

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
火気厳禁。炎、火気、高温体との接近、その他点火源となるおそれのある機械の  
使用を禁止する。

粉じん爆発を起こすおそれがあるため、防爆使用の設備を使用する。

取扱い後は手、顔等は良く洗い、休憩所等に手袋等の汚染保護具を持ちこま  
ないこと。

接触回避

皮膚、粘膜または着衣に触れたり、眼に入らぬよう保護具を着用すること。  
混合接触させてはならない物質：知見なし

### 保管

安全な保管条件

直射日光を避け、換気の良いところに保管する。  
水濡れ、吸湿しない様に注意する。  
電気機器は防爆構造とする他、消防法などの法令に定められるところに従う。  
子供の手の届かないところに保管すること。  
盗難防止のために施錠すること。

安全な容器包装材料

製品使用容器に準ずる。

## 8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度

(混合物として設定なし)

許容濃度

(混合物として設定なし)

成分名

結晶質シリカ (石英)

日本産衛学会 (2015 年度版)

(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m<sup>3</sup>

ACGIH (2015 年度版)

TLV-TWA : 0.025mg/m<sup>3</sup> (呼吸性画分)

(結晶質シリカ、 $\alpha$ -クォーツ及びクリストバライト)

成分名

ポルトランドセメント

USECHH (2000 年度版)

(吸入性粉じん) TLV-TWA 3mg/m<sup>3</sup>

(総粉じん) TLV-TWA : 10mg/m<sup>3</sup>

成分名

二酸化チタン

日本産衛学会 (2016 年度版)

(吸入性粉じん) 1mg/m<sup>3</sup>

(総粉じん) 4mg/m<sup>3</sup>

(第 2 種粉じん; 二酸化チタン)

ACGIH (2015 年度版)

TLV-TWA : 10mg/m<sup>3</sup>

成分名

二酸化ケイ素

日本産衛学会 (2015 年度版)

(吸入性結晶質シリカ) 0.03mg/m<sup>3</sup>

成分名

酸化亜鉛

ACGIH (2013 年度版)

TLV-TWA : 2mg/m<sup>3</sup> (吸入性粒子)

TLV-STEL : 10mg/m<sup>3</sup> (吸入性粒子)

## 設備対策

この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。  
高熱工程で粉じん、ヒュームが発生するときは、空気汚染物質を管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する  
粉じんが発生する作業所においては、必ず密閉された装置、機器または局所換気装置を使用する。

## 保護具

呼吸器の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具

適切な保護手袋を使用すること。

眼、顔面保護具

個人用の眼の保護具、保護面を使用すること。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護衣を使用すること。

特別な注意事項

作業終了後は、手洗いを十分に行う。

## 9. 物理的及び化学的物質

物理状態

固体

色

白色

臭気

無臭

融点/凝固点

約 1350°C

沸点又は初留点及び沸点範囲

データなし

可燃性

該当しない

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

該当しない

引火点

該当しない

自然発火点

該当しない

分解温度

データなし

pH

データなし (分散液)

動粘性率

該当しない

溶解度

データなし

n-オクタノール/水分配係数

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

データなし

相対ガス密度

該当しない

粒子特性

データなし

## 10. 安定性・反応性

反応性

水と反応し固化する。

化学的安定性

常温付近では危険な反応はしない。

危険有害反応可能性

データなし

避けるべき条件

直射日光を避ける

雨水等の水濡れを防止する措置を講じて保管する。

混触危険物質

データなし

危険有害な分解生成物

データなし

## 11. 有害性情報

急性毒性

データ不足のため分類できない

皮膚腐食性/刺激性

製品は眼を刺激するおそれがある。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

製品は皮膚を刺激するおそれがある。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品は呼吸器を刺激するおそれがある。

生殖細胞変異原性	区分 2 (結晶質シリカ (石英) $\geq 1\%$ )
発がん性	区分 1A (結晶質シリカ (石英) $\geq 0.1\%$ )
生殖毒性・授乳影響	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	データ不足のため分類できない
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分 1 (免疫系、呼吸器、腎臓) (結晶質シリカ (石英) $\geq 10\%$ )
誤えん有害性	データ不足のため分類できない

## 12. 環境影響情報

生体毒性	魚類	データなし
	甲殻類	0.098mg Zn/l-48hr (オオミジンコ) (酸化亜鉛)
	藻類	0.0299mg/l (酸化亜鉛)
残留性・分解性		データなし
生態蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		当該物質はモントリオール議定書の付属書に列記されていない。

## 13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	内容物／容器を (国／都道府県／市町村) の規則に従って廃棄すること。都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。空容器を廃棄する場合、内容物を完全除去した後にリサイクル又は処分する。特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。
--	--

## 14. 輸送上の注意

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	火気厳禁、天地無用。 容器に濡れが無いことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法規に定められる運送方法に従うこと
海上輸送	船舶安全法の定めるところに従うこと。
航空輸送	航空法の定めるところに従うこと。 荷送人は運搬注意書 (イエローカード等) を交付すること。

## 15. 適用法令

化学物質管理促進法	非該当
労働安全衛生法	第 57 条に規定される表示対象物 第 57 条の 2 に規定される通知対象物 第 57 条の 3 に規定される調査対象物 皮膚刺激性有害物質 (R6.4.1～) がん原性物質 (安衛則) (作業記録等の 30 年保存対象物質) (R5.4.1～)
じん肺法	法第 2 条 施行規則第 2 条別表粉じん作業
毒劇及び劇物取締法	非該当
水質汚濁防止法	政令第 3 条の 3 第 54 号 鉄及びその化合物 (酸化亜鉛)

## 16. その他情報

引用文献：	原材料 SDS
-------	---------

JIS Z7253:2019  
NITE 化学物質総合情報システム

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。

また、注意事項は通常の実施を前提としております。特別な取扱いをされる場合は、用途／用法に適した安全対策を改めて実施して取扱われますようお願いいたします。

すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。

なお、ここに記載された情報は、新たな知見又は法規制の変更等により改訂されることがありますことをご了承ください。



熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 涼しいところに置くこと。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 眼、皮膚、衣類につけないこと。  
 取扱い後はよく全身を洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

#### 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
 無理に吐かせないこと。
- 皮膚に付着した場 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
 多量の水／石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。  
 直ちに医師に連絡すること。

保管 : 施錠して保管すること。  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 涼しいところに置くこと。

廃棄 : 内容物／容器を廃棄する場合には、該当法規に従い、都道府県知事に許可された廃棄物処理業者に委託し、適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：シリコン樹脂を含む混合物

化学名又は一般名	含有率(%)	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
脂肪族 <sup>6)</sup> リアミン	約13.4	非公開	非公開
m-キシレンジ <sup>7)</sup> アミン	約1.1	3-308	1477-55-0
水	約85.1	—	7732-18-5
その他	約0.4	—	—

#### 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
多量の水/石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断/手当を受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
無理に吐かせないこと。

#### 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)、乾燥砂など
- 使ってはならない消火剤 : 火災を拡大する可能性のある放水 (棒状水など)

#### 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具を着用し、皮膚に付着させない、粉塵を吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 環境への影響を起ささないよう、河川などに排出しない。
- 封じ込め及び浄化の  
方法及び機材 : 漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器にできる限り集める。  
残留液を、砂又は不活性吸収剤に吸収させる。
- 回収、中和などの浄化の  
方法及び機材 : 濡れ布、濡れ紙でふき取る。  
回収除去後、十分に水洗いする。

#### 7. 取扱い及び保管上の注意

##### 取扱い

- 技術的対策 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚との接触を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
環境への放出は避けること。  
取り扱い後はよく全身を洗うこと。
- 接触回避すべき化学物質 : 特になし。

##### 保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。

涼しいところに置くこと。  
 施錠して保管すること。  
 雨露を避け、風通しの良い湿度の少ない屋内で保管すること。  
 水濡れの危険のある床面では直置きを避け、パレットなど架台を用いる。

安全な容器包装材料 : 製品の移動は容器に入れたままの状態で行う。  
 落下や他の器物に当てるなど容器を破らないように慎重に扱うこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

保護具

呼吸器の保護具 : 防毒マスク（有機ガス用など）  
 密閉された場所では送気マスクなど

手の保護具 : 不浸透手袋

眼・顔面の保護具 : ゴーグル型の保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 : 肌を露出しない保護服、保護長靴、保護前掛け等

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体

色 : 淡黄色

臭い : アミン臭

融点／凝固点 : データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし

可燃性 : データなし

爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界 : データなし

引火点 : データなし

自然発火点 : データなし

分解温度 : データなし

pH : データなし

動粘性率 : データなし

溶解度 : 水に無限大に希釈可能

n-オクタノール／水分配係数 : データなし

蒸気圧 : データなし

密度 : データなし

相対ガス密度 : データなし

粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性 : 通常の温度、圧力の条件下では安定である。

避けるべき条件 : 5℃以下の低温、40℃以上の高温

混触危険物質 : 炭酸ガス、酸性物質、エポキシ化合物及びイソシアネート化合物等

有害な分解生成物 : 燃焼等によるCO、NO<sub>x</sub>

## 1.1. 有害性情報

[製品・成分]

製品・成分名	急性毒性					皮膚腐食性 刺激性	眼損傷 刺激性	呼吸器 感受性
	経口	経皮	吸入					
			気体	蒸気	粉塵・ミスト			
製品	－	－	－	－	－	区分2	区分2	－
変性脂肪酸 <sup>*</sup> リアミン	－	－	－	－	－	－	－	－
m-キシリリジ <sup>*</sup> アミン	－	－	－	－	－	区分1B	区分1	－
水	－	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－	－

製品・成分名	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん 有害性
製品	区分1	－	－	－	区分2 (肺)	－	－
変性脂肪酸 <sup>*</sup> リアミン	－	－	－	－	－	－	－
m-キシリリジ <sup>*</sup> アミン	区分1	－	－	－	区分1 (呼吸器)	－	－
水	－	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－	－

※ ー：区分に該当しない又は分類できない

## 1.2. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性

水生生物に非常に強い毒性

長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

[製品・成分]

製品・成分名	生態毒性		残留性・分解性	生体蓄積性	土壌中の移動性	オゾン層への有害性
	短期（急性）	長期（慢性）				
製品	－	－	－	－	－	－
変性脂肪酸 <sup>*</sup> リアミン	－	－	－	－	－	－
m-キシリリジ <sup>*</sup> アミン	区分3	区分3	－	－	－	－
水	－	－	－	－	－	－
その他	－	－	－	－	－	－

※ ー：区分に該当しない又は分類できない

### 1 3. 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

### 1 4. 輸送上の注意

#### 国際規制

国連番号 : 2735  
国連分類 : クラス8  
容器等級 : III  
指針番号 : 153

#### 国内規制

陸上規制情報 : 運搬の際は運搬注意書（イエローカード等）を交付する。  
消防法、道路法等に定められている輸送方法に従うこと。

海上規制情報 : 船舶安全法に定めるところに従うこと。  
個品輸送の場合、海洋汚染防止法対象MARINE POLLUTANT Labelを貼付する。

航空規制情報 : 航空法に定めるところに従うこと。

その他の情報 : 運搬に関しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
移送時にイエローカードの保持が必要である。食料や飼料と一緒に輸送してはならない。

### 1 5. 適用法令

労働安全衛生法 : 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物  
(m-キシリレンジアミン)  
毒物及び劇物取締法 : 非該当  
消防法 : 第4類 第三石油類（非水溶性）  
船舶安全法 : 腐食性物質  
航空法 : 腐食性物質

### 1 6. その他の情報

- ・この SDS は JIS Z 7253 に準拠し作成しております。
- ・記載事項は作成時点で入手した最新情報をもとにしていますが、その正確性または完全性を保証するものではありません。全ての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・記載事項は通常の取扱いを対象とするものですので、指定された用途・用法以外に使用しないでください。
- ・使用者においては、安全と健康及び環境保護を確実にを行うため、この SDS の情報に加え自ら収集された情報を合わせて、その適合性と完全性をご判断ください。
- ・この SDS は日本国内においてのみ適用するものとします。

# 安全データシート (SDS)

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	KFシールテクト アンダーコートT、Tパテ 主剤
供給者の会社名称	KFケミカル株式会社
供給者の住所	〒105-0004 東京都港区新橋1-1-1
供給者の電話番号	03-6629-9033
作成日	2022年 5月 24日

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

記載のないものについては区分に該当しない、または分類できない。

#### [物理化学的危険性]

#### [健康に対する有害性]

皮膚腐食性・刺激性	: 区分 2
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	: 区分 2 B
皮膚感作性	: 区分 1

#### [環境に対する有害性]

水生環境有害性 短期(急性)	: 区分 2
水生環境有害性 長期(慢性)	: 区分 2

### GHSラベル要素

#### [絵表示又はシンボル]



#### [注意喚起語]

警告

#### [危険有害性情報]

皮膚刺激  
眼刺激  
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
水生生物に毒性  
長期継続的影響により水生生物に毒性

#### [注意書き]

安全対策 : 医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。  
子供の手の届かないところに置くこと  
使用前にラベルをよく読むこと

使用前に取扱説明書を入手すること。  
 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
 容器を密閉しておくこと。  
 涼しいところに置くこと。  
 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。  
 眼、皮膚、衣類につけないこと。  
 取扱い後はよく全身を洗うこと。  
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。  
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
 環境への放出を避けること。  
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

#### 応急措置

**吸入した場合** : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。  
**飲み込んだ場合** : 口をすすぐこと。  
 無理に吐かせないこと。  
**皮膚に付着した場** : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
 多量の水／石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診察／手当を受けること。  
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。  
**眼に入った場合** : 水で数分間注意深く洗うこと。  
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。  
 直ちに医師に連絡すること。

#### 保管

: 施錠して保管すること。  
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 涼しいところに置くこと。

#### 廃棄

: 内容物／容器を廃棄する場合には、該当法規に従い、都道府県知事に許可された廃棄物処理業者に委託し、適切に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：シリコン樹脂を含む混合物

化学名又は一般名	含有率 (%)	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
ビスフェノールA型液状エポキシ樹脂	約32.2	7-1283	25068-38-6
水	約64.5	—	7732-18-5
添加剤	約3.3	—	—

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
直ちに医師に連絡すること。特別な処置が必要である。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。  
多量の水／石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激又は発疹が生じた場合、医師の診断／手当を受けること。  
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。  
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
その後も洗浄を続けること。  
直ちに医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。  
無理に吐かせないこと。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>)、乾燥砂など
- 使ってはならない消火剤 : 火災を拡大する可能性のある放水 (棒状水など)

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具を着用し、皮膚に付着させない、粉塵を吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項 : 環境への影響を起ささないよう、河川などに排出しない。
- 封じ込め及び浄化の  
方法及び機材 : 漏れた液やこぼれた液を、密閉式の容器にできる限り集める。  
残留液を、砂又は不活性吸収剤に吸収させる。
- 回収、中和などの浄化の  
方法及び機材 : 濡れ布、濡れ紙でふき取る。  
回収除去後、十分に水洗いする。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

- 技術的対策 : 「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
- 安全取扱注意事項 : 眼、皮膚との接触を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
環境への放出は避けること。  
取り扱い後はよく全身を洗うこと。
- 接触回避すべき化学物質 : 特になし。

### 保管

- 安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。  
涼しいところに置くこと。  
施錠して保管すること。

雨露を避け、風通しの良い湿度の少ない屋内で保管すること。

水濡れの危険のある床面では直置きを避け、パレットなど架台を用いる。

安全な容器包装材料 : 製品の移動は容器に入れたままの状態で行う。

落下や他の器物に当てるなど容器を破らないように慎重に扱うこと。

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

保護具

- 呼吸器の保護具 : 防毒マスク (有機ガス用など)  
密閉された場所では送気マスクなど
- 手の保護具 : 不浸透手袋
- 眼・顔面の保護具 : ゴーグル型の保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : 肌を露出しない保護服、保護長靴、保護前掛け等

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 乳白色
- 臭い : 僅かなエポキシ臭
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 : データなし
- 引火点 : データなし
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- pH : データなし
- 動粘性率 : データなし
- 溶解度 : 水に対する溶解度 : 不溶
- n-オクタノール/水分係数 : 非該当
- 蒸気圧 : データなし
- 密度 : データなし
- 相対ガス密度 : 非該当
- 粒子特性 : データなし

## 10. 安定性及び反応性

- 化学的安定性 : 通常の温度、圧力の条件下では安定である。
- 避けるべき条件 : 5℃以下の低温、40℃以上の高温
- 混触危険物質 : 酸化性物質
- 有害な分解生成物 : データなし

## 1.1. 有害性情報

[製品・成分]

製品・成分名	急性毒性					皮膚腐食性 刺激性	眼損傷 刺激性	呼吸器 感受性
	経口	経皮	吸入					
			気体	蒸気	粉塵・ミスト			
製品	－	－	－	－	－	区分2	区分2B	－
ビスフェノールA型液状 エポキシ樹脂	－	－	－	－	－	区分2	区分2B	－
水	－	－	－	－	－	－	－	－
添加剤	－	－	－	－	－	－	－	－

製品・成分名	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん 有害性
製品	区分1	－	－	－	－	－	－
ビスフェノールA型液状 エポキシ樹脂	区分1	－	－	－	－	－	－
水	－	－	－	－	－	－	－
添加剤	－	－	－	－	－	－	－

※ ー：区分に該当しない又は分類できない

## 1.2. 環境影響情報

[製品・成分]

製品・成分名	生態毒性		残留性・分解性	生体蓄積性	土壌中の移動性	オゾン層への有害性
	短期（急性）	長期（慢性）				
製品	区分2	区分2	－	－	－	－
ビスフェノールA型液状 エポキシ樹脂	区分1	区分1	－	－	－	－
水	－	－	－	－	－	－
添加剤	－	－	－	－	－	－

※ ー：区分に該当しない又は分類できない

## 1.3. 廃棄上の注意

残余廃棄物

：廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

汚染容器及び包装

：空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

## 14. 輸送上の注意

### 国外規制

国連番号 : 3082  
国連分類 : クラス9  
容器等級 : III  
指針番号 : 171

### 国内規制

船舶安全法 : 環境汚染物質  
その他の情報 : 運搬に関しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
移送時にイエローカードの保持が必要である。食料や飼料と一緒に輸送してはならない。

## 15. 適用法令

化学物質把握管理促進法 : 該当しない  
(PRTR 制度)  
消防法 : 該当しない  
船舶安全法 : 環境有害物質  
海洋汚染防止法 : ビスフェノール A 型液状エポキシ樹脂 (X 類物質)

## 16. その他の情報

- ・この SDS は JIS Z 7253 に準拠し作成しております。
- ・記載事項は作成時点で入手した最新情報をもとにしていますが、その正確性または完全性を保証するものではありません。全ての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・記載事項は通常の実用を対象とするものですので、指定された用途・用法以外に使用しないでください。
- ・使用者においては、安全と健康及び環境保護を確実にを行うため、この SDS の情報に加え自ら収集された情報を合わせて、その適合性と完全性をご判断ください。
- ・この SDS は日本国内においてのみ適用するものとします。